

北斗市特認校 島川小学校の教育活動

くふるさとかから学び たくましく自律し続ける子く

親子稲刈り体験会

春に植えた稲はすっかり黄金色に染まり、10月「親子稲刈り体験会」を行いました。

地域農家の方を師匠に迎えて、大人も子どもも鎌を片手に米の収穫体験に汗を流しました。

地域の方に感謝の気持ちをこめて稲を刈りました。もちつきが楽しみです！



はじめてのいねかり。てんきがよくてあつかったけど、がんばりました！



北斗市の農業地域としての「ふるさと島川」ならではの体験、毎年経験している子たちの手際の良さに、生きた実体験の大切さを改めて感じました。

この日は、特認校のオープンスクールとして市内の小学校児童や幼稚園・保育園児にも案内し、今回は10名の親子が他校園から参加してくれました。この機会に「島川」の良さを発見し、新たな特認児童が来てくれたらと願っています。

宿泊研修

渡島の縄文文化学習を行った5年生の宿泊研修。大野中学校区の4小学校（市渡小・大野小・萩野小・島川小）の合同行事として開催されました。4校の交流とあって、事前学習をオンライン（インターネット）を介した交流で実施して、親睦を深めました。

未来を生きる子どもたちのために 生活習慣改善の取り組み

本校では、「生活習慣とメディアコントロール」の向上に取り組んでいます。先日発行の保健だよりでは、親子で取り組む「生活習慣セルフチェック」を呼びかけ、「チェックシート」を配布しました。子どもたちが将来大人になった時、様々なメディアにあふれた、便利な未来社会を生きていると思います。「便利さ」を生かせる「自律」の力が身につくように、日々支援していきたいと考えています。

チェックシートの項目

一部抜粋

- あさごはん（おかずあり）をたべた
- よる9じまでにねた
- 30ぶんゲームをした

縄文時代の家は意外と広くてびっくり！他の学校のお友達と仲良く楽しくすごせて良かったです！

